

SusHi Tech Tokyo 2024

ショーケースプログラム 報告書概要版

1. SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム概要
2. ショーケースプログラム開催実績
3. 日本科学未来館
4. シンボルプロムナード公園
5. 海の森エリア
6. 有明アリーナ
7. 輸送
8. 広報
9. ボランティア
10. ガイドライン対応
11. 事業者アンケート
12. 技術パートナー一覧

1. SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム概要

全体開催日程：2024年4月27日(土)～5月26日(日)

■ SusHi Tech Tokyo 2024

東京発の「持続可能な新しい価値」を生み出す「Sustainable High City Tech Tokyo = SusHi Tech Tokyo」を推進する取組として、ショーケースプログラム、グローバルスタートアッププログラム、シティ・リーダーズプログラムの三つのプログラムで構成。世界共通の都市課題解決に向けた東京発のイノベーションを創出するとともに、未来の都市モデルを国内外に発信する。

■ ショーケースプログラムの目的

ベイエリアの各会場の特色を生かし、SusHi Tech Tokyoの理念を具現化したプログラムの「体験」を通じ、共感を得ることで、来場者一人ひとりの気づきや行動変容につなげることを目指す。

■ ショーケースプログラム 各ベニュー開催日程

- 日本科学未来館 : 4月27日(土)～5月26日(日)
※5月7日・14日は休催
- シンボルプロムナード公園 : 5月12日(日)～5月26日(日)
- 海の森エリア : 5月12日(日)～5月21日(火)
※空飛ぶクルマ飛行は5月17日(金)・18日(土)・22日(水)・23日(木)の4日間
東京ビッグサイトで開催
- 有明アリーナ : 5月17日(金)～5月21日(火)

主催：東京都

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム 実行委員会



2. ショーケースプログラム開催実績（サマリー）

来場者数

4ベニュー合計 **612,000**人

【内訳】

日本科学未来館	97,000人
シンボルプロムナード公園	472,000人
海の森エリア	10,000人
有明アリーナ	33,000人

- 約1か月にわたり主に都民・一般向けに未来の都市モデルを体感できるコンテンツを多数展開、60万人を超える方が来場した。
- SusHi Tech Tokyo の理念を多くの方に伝え、テクノロジーの社会受容性を高めるイベントとなった。

実施コンテンツ数

計 **167**コンテンツ

- 4つの会場で、体験型コンテンツ、ステージイベント、ワークショップなどを展開。
- 最先端技術が見せる、未来の可能性を体感していただいた。

協賛パートナー等

技術パートナー	138社
フードパートナー	61社
先行プロジェクト事業者	15社

- 約200社の企業、団体から、SusHi Tech Tokyo の趣旨や、イベントの目的に賛同し、最先端技術や、サステナブルで美味しい食の提供をいただいた。

ボランティア

活動人数 **延べ1,805**人

- スポーツイベントを除き、東京都が主催する大規模イベントとしては初めて、ボランティアの方々に大々的に活動していただいた。
- 東京2020大会で培われたボランティア文化の可能性を広げることができた。

広報効果

露出件数 **793**件

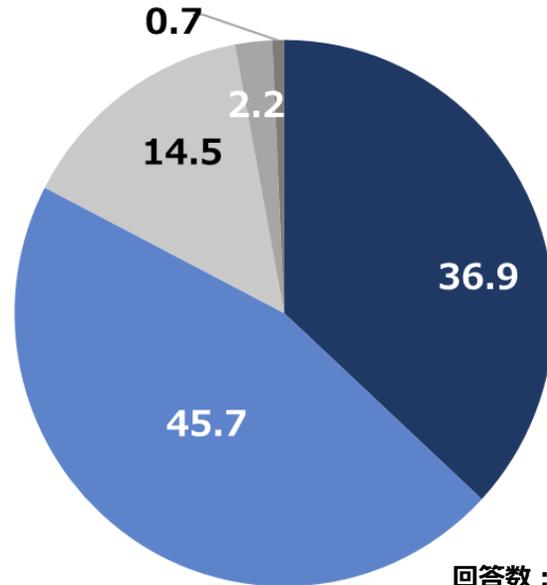
- 多くのメディアが取り上げることで、来場促進につながった。
- メディアを通して、未来の都市像を示す東京都の取組を多くの方に知っていただいた。

2. ショーケースプログラム開催実績（アンケート）

イベント満足度

82.6%が満足と回答

■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ 大変不満



回答数：6,482

- 大多数の方に、イベントに満足していただいた。
- 一方で、コンテンツの待ち時間や、ワークショップの拘束時間について改善の指摘もあった。今後、同種のイベントを実施する際の参考としていく。

イベント参加者の「サステナブルな取組実践意向」

86.4%（非参加者61.4%、25.0pt差）

※取り組みたい+やや取り組みたいの合計

- イベントに参加したことによって、サステナブルな取組を実践してみたいと考える方の割合が増えた。
- 「持続可能な社会に向けた行動変容を促す」というイベントの目的を一部実現できた。

イベント参加者の「2050年の東京への期待度」

77.9%（非参加者36.6%、41.3pt差）

※とても希望が持てる+やや希望が持てるの合計

- イベントに参加したことによって、東京の未来に希望が持てると思う方の割合が2倍以上に増えた。
- テクノロジーが示す未来の可能性を、好意的に受け止めていただいた。

3. 日本科学未来館（開催実績①）

最新のテクノロジーやサステナビリティを楽しく体験し、課題解決に向けたアイデアをこどもたちに表現してもらうことをコンセプトに、28日間にわたって開催。10代未満（24%）と30、40代（あわせて41%）の親子連れを中心に約97,000人が来場。また、1階ロビー及び旧ショップスペースでは東京都各局や自治体、学校団体が取り組むサステナブルな活動などを紹介。

1階展示ゾーン「みらい発見フロア」

シンボルゾーン



空飛ぶタクシーを展示ゾーン前に設置し来場を誘引
みらいのあそび



鉄腕アトムをはじめ手塚キャラクターが、会場アンバサダーとしてわかりやすく会場内を案内
みらいのしよく

エントランス

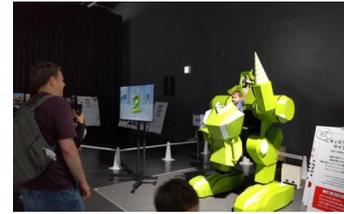


その他



伝統と未来が融合した山車「ツナグルマ」の展示

みらいのどうぐ



実際に搭乗して、ロボットが活躍する未来を体感



VRゴーグルを装着して空飛ぶクルマを疑似体験



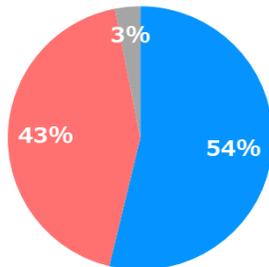
ドローンデリバリーで荷物の運搬体験



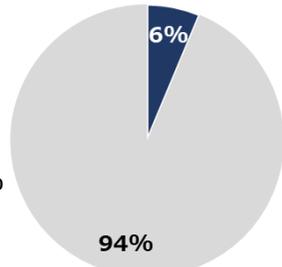
おばけレストランで未来の食を映像で体験

「空飛ぶクルマシミュレーター」「ドローンデリバリー」「おばけレストラン」などの人気コンテンツを中心とした体験で、未来のテクノロジーの社会受容性向上に寄与。

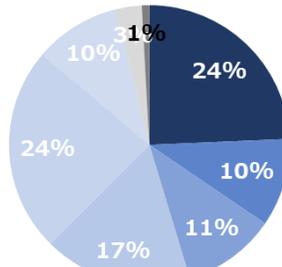
来場者属性



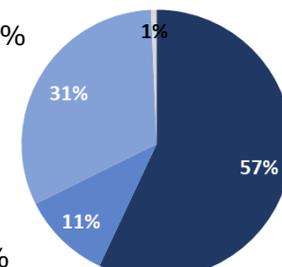
男性：54%
女性：43%
無回答：3%



ビジネス：6%
一般：94%



10代未満：24%
10代：10%
20代：11%
30代：17%
40代：24%
50代：10%
60代：3%
70代以上：1%



東京都（23区内）：57%
東京都（23区外）：11%
東京都以外：31%
日本国外：1%

3. 日本科学未来館（開催実績②）

7階ワークショップ「みらい創造フロア」

小学生や中高生向けのワークショップや学校アイデア会議などの様々なコンテンツを通じ、参加者自らが未来について考える機会を提供。計2,408人が参加。

こども発明教室



企業と一緒に「発明」のプロセスを体験

未来発明起業講座



新たなビジネスアイデアを考案

【参加者の感想】
（そう思う+ややそう思う）

自分も将来起業
してみたいと思いましたか？

83.9%

学校アイデア会議



学びの未来をテーマに有識者を交えたパネルディスカッション

女性の起業家マインドを 社会課題解決とともに育む



次世代を担う女性起業家等による学生向け講座

東京都による様々な取組の紹介

東京都の各局等によるSusHi Tech Tokyoの理念を体現する様々な取組をブース展示や講演・ワークショップを通じて発信。

1階展示ブース



延べ16のブースを会期中に設置・紹介。30,000人以上が来訪



7階講演等



5つの関連講演・ワークショップを実施。計271人が参加



来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

モノづくりや発明をすることは
楽しいことだと感じた

88.2%

自分たちの手でより良い未来を
つくっていきたくと思った

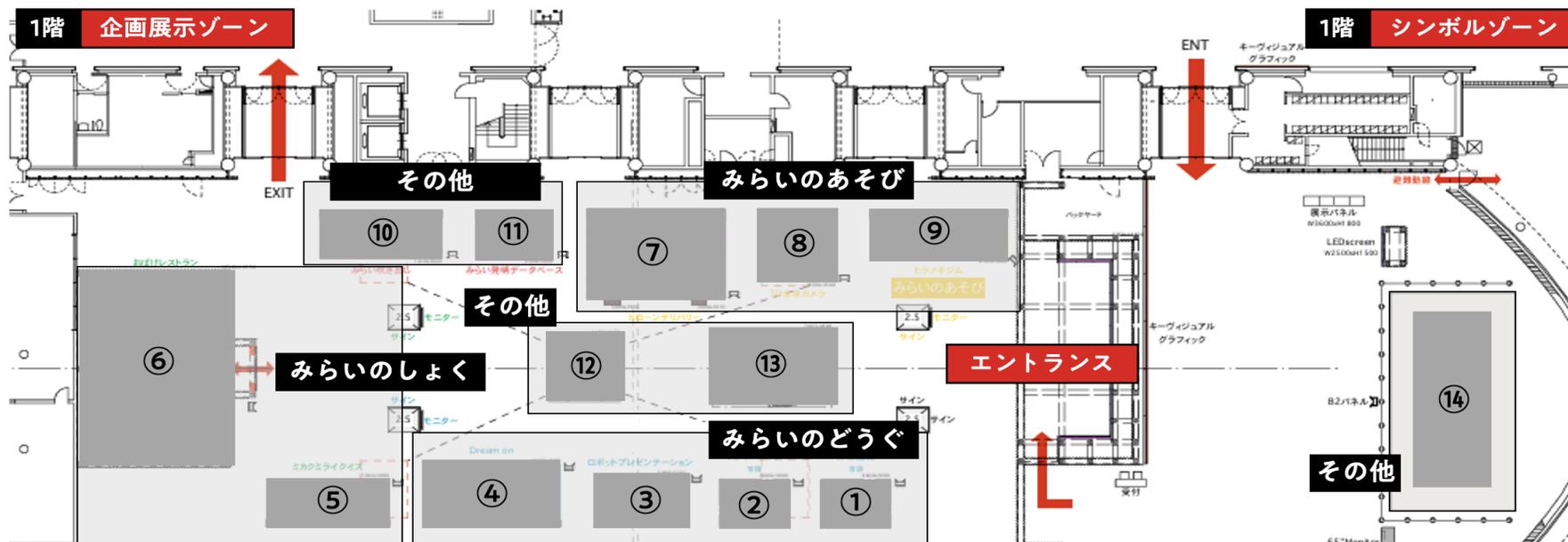
85.8%

これから自分たちが未来を
作っていくことに興味が持てた

84.3%

3. 日本科学未来館 (概要①)

会場レイアウト (1階 未来発見フロア)



主なコンテンツ (1階未来発見フロア)

未来のどうぐ

- ①キッズウォーカー・サイクロプス
- ②自動車変形ロボット ファイバリオン
- ③ロボットプレゼンテーション
- ④空飛ぶクルマシミュレーター

未来のしょうく

- ⑤ミカクミライクイズ
- ⑥おばけレストラン

未来のあそび

- ⑦ドローンデリバリー
- ⑧3D未来カメラ
- ⑨ヒラメキジム

その他

- ⑩未来ふきだし
- ⑪未来発明データベース
- ⑫未来のやぐら
- ⑬ツナグルマ
- ⑭空飛ぶタクシー

日本科学未来館「未来発明祭」アンバサダー



アトム



レオ



火の鳥

©TEZUKA PRODUCTIONS

主なコンテンツ (7階未来創造フロア)

ワークショップ

- こども発明教室 (あそび・どうぐ・しょうく)
- 未来発明起業講座
- 2050年学校アイデア会議
- 女性の起業家マインドを社会課題解決とともに育てる
- スタンフォードin東京 ~未来の起業家講座~
- チョコレートから考えるサステナ&エシカル消費

3. 日本科学未来館（概要②）

各局等連携コンテンツ

ブース名	開催日	内容
未来の東京を体感（「東京ベイeSG賞」XR体験）	4/27（土）～4/28（日）	Minecraftカップ「東京ベイeSG賞」を受賞した作品のVR・AR体験や、教育版マイクラフトの体験
ユニバーサルコミュニケーションの促進	4/27（土）～5/1（水）	ユニバーサルコミュニケーション技術について体験
世界陸上・デフリンピック	4/27（土）～5/1（水）	2025年に開催される東京2025世界陸上、東京2025デフリンピックについての紹介
SusHi Tech Tokyo2024ブース	4/27（土）～5/26（日）	東京都の取組を幅広く紹介。オリジナルグッズの配布
こどもスマイルムーブメントブース	4/27（土）～5/26（日）	子供政策の取組を紹介。「東京の魅力すごろく」を体験された方にはオリジナルグッズをプレゼント
スマート東京の紹介	4/27（土）～5/26（日）	デジタルの力で都民のQOL向上を目指す、「スマート東京」を紹介
環境事業の紹介	4/27（土）～5/26（日）	気候変動対策や生物多様性の保全、大気汚染対策、資源循環の取組など幅広く環境への取組を紹介
東京の都市づくり	4/27（土）～5/26（日）	江戸時代から未来へと続く東京の都市づくり“Tokyo Time Scape”（動画）等を放映
品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」にいこうよ！	4/27（土）～5/26（日）	都内公共施設で初めてNealry ZEBの認証を受けたエコルとごしの、楽しみながら環境を学ぶ取組を紹介
GRAND CYCLE TOKYO	5/3（金）～5/4（土）	バーチャルサイクリングでレインボーライドのコースを体験
台東区の伝統工芸職人による実演	5/3（金）～5/6（月）	江戸職人の製作実演
援農ボランティアの紹介	5/11（土）～5/13（月）	援農ボランティアの紹介や、緑の募金を実施。募金にご参加頂いた方にはトイカプセルグッズをプレゼント
スマート農業の紹介・体験	5/11（土）～5/13（月）	遠隔農作業支援システムの紹介やスマートグラスの体験
臨海副都心における自動運転の取組紹介	5/12（日）～5/26（日）	自動運転に関する技術やこれまでの取組を紹介
東京都立忍岡高校による展示	5/15（水）～5/26（日）	東京都立忍岡高校生活科学科の生徒の皆さんが考案したSDGsメニューや伝統的な和菓子の紹介等、パネル等を用いた紹介
TOKYO2020レガシー展ブース	5/17（金）～5/21（火）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を彩った品々の一部を紹介

講演名	開催日時	内容
水素って何だろう？どんな未来につながる？	4/28（日） 13:00～13:30	水素を分かりやすく解説し、それにより創られる未来についての講演（根本通商株式会社カーライフ新エネルギー部 緑川直樹部長ご講演）
水素で動く船？！仕組みを学んでみよう！	4/28（日） 12:00～12:45 4/29（月） 12:00～12:45	水素を活用した燃料電池船の仕組みを学びながら、水素エネルギー活用への理解を深めてみませんか？（東京海洋大学 大出剛特任教授ご講演）
水の科学館出張ワークショップ／ 虹の下水道館出張ワークショップ	5/21（火） 13:30～14:40	「はりがねアメンボ」をつくるワークショップ。アメンボを水に浮かべた、表面張力の実験。 下水道の仕事の1つ「水質検査」体験。検査キットを使って様々な水の汚れを比較してみましょう！
遺伝子や脳科学を中心に、体や脳の不思議を紐解く	5/25（土） 10:30～12:30	遺伝子や脳科学を中心とした体や脳の不思議について、東京都医学総合研究所の3人の研究員が皆さんにわかりやすく解説
触れて・噛んで・味わって： 幸せになるお口のこともっと知ろう！	5/25（土） 15:00～15:30	美味しいものを味わう幸せ、噛める喜びといった身近な行動から、口腔の健康とひとの幸せについてお話します（東京都健康長寿医療センター研究所 枝広あや子研究員ご講演）

4. シンボルプロムナード公園 (開催実績①)

全長約2kmの広大なエリアを活用し様々なコンテンツを配置。江戸時代から未来の東京までを比較しながら楽しみ、新たな発見や気づきを促すことをコンセプトに、サステナブルな食やアート、ファッションから、最新型のモビリティまで幅広い体験コンテンツや企業出展などを展開。15日間で約472,000人を集客。

FOOD/STAGE



PLAY



MARKET



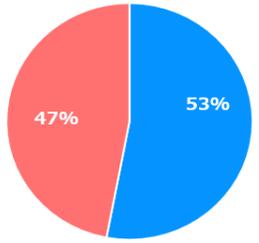
MOBILITY



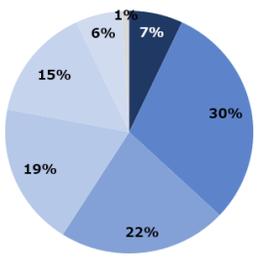
ART



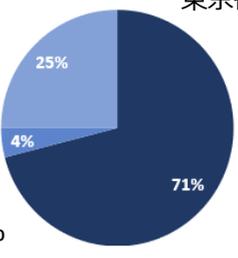
来場者属性



男性：53%
女性：47%



10代：7%
20代：30%
30代：22%
40代：19%
50代：15%
60代：6%
70代以上：1%



東京都 (23区内)：71%
東京都 (23区外)：4%
東京都以外：25%

「Eat Better」をテーマにフードを展開



ショーケースプログラム全体での食関連の取組などをまとめたタブロイド型ペーパーを配布

4. シンボルプロムナード公園（開催実績②）

フードロス対策/3R活動の推進



リユースカップの活用



廃材を活用したワークショップ



規格外野菜のマルシェ

フード出店者によるフードロス対策アプリ「TABETE」の利用（導入5店舗）のほか、リユースカップ（1,085杯分）、循環型食器「edish」の活用など食関連の取組を実施。廃材を活用したアート制作やTシャツのリペア体験など様々な体験コンテンツを提供。

ダイバーシティ&インクルージョン/都民・こどもの参画



パラ競技関係者らによるトークイベントや体験会などを実施



大井権現太鼓保存会（品川区）のこどもたちによる太鼓演奏



伝統と未来が融合した山車「ツナグルマ」によるパレード



ヘブンアーティストたちによるステージ

来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

次世代モビリティの試乗を通して、より便利な未来を身近に感じることができた

80.1%

アップサイクルDIYやファッションの展示などを見て、古いモノにも新しい価値が生まれるような工夫をしていきたいと感じた

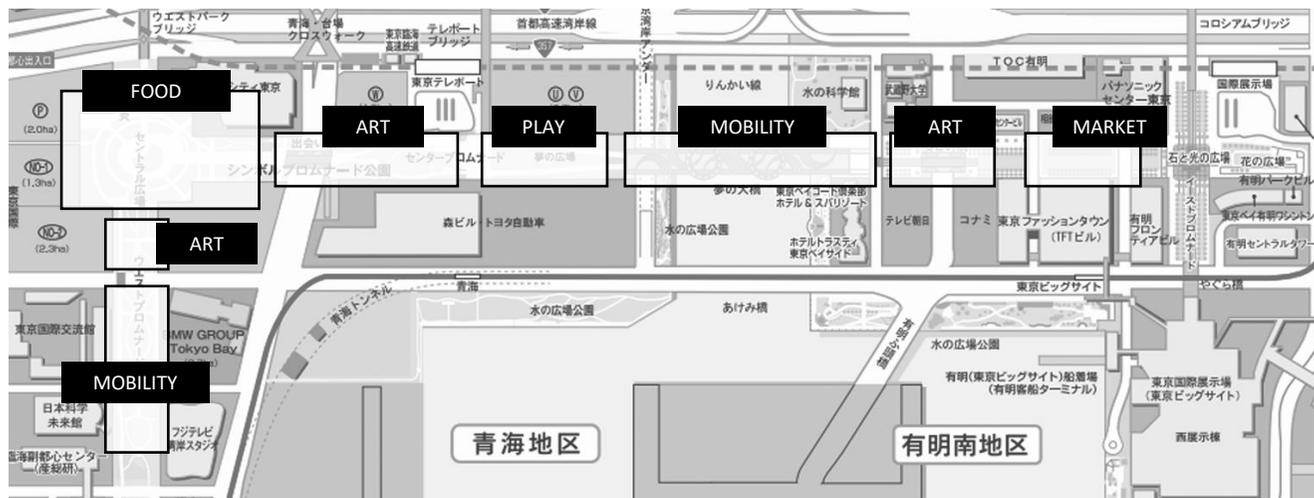
69.5%

Z品グルメなどを通じて、おいしいサステナブルな食への関心が高まった

65.6%

4. シンボルプロムナード公園 (概要①)

会場レイアウト



主なコンテンツ

FOOD

Z品(ゼッピン)グルメ

▶ 特設ブース

- ・若手料理人「CLUB RED」メンバーによる限定メニュー
- ・東京産食材やプラントベース食材を取り入れたイタリアン
- ・サステナブルな陸上養殖サーモンを使った握り寿司

▶ キッチンカー

規格外野菜を使ったカレー、植物由来の原料のみで作ったラーメンなど、1日20店舗以上のキッチンカーが出店

▶ LONG TABLE DINER

- ・EATBEAT! 5/12 (日) 18:00~20:00
料理ができるまでの過程を、見る・聴く・感じる
「食×音楽」のライブパフォーマンス

- ・YUKIYAMESHI×Oisix 5/25 (土) 16:00~18:00
サステナブル食材を使った料理とトークセッションがセットになったイベント



おいしくて地球にやさしい
「未来の食」が大集合!



MARKET

▶ ワークショップ

廃材ベンチ制作、Tシャツリペア等

▶ マルシェ

ふぞろい野菜マルシェ等



MOBILITY

- ▶ 次世代モビリティ試乗体験
 - ・低速コース (日本科学未来館前)
 - ・高速コース (国際交流会館前)
 - ・フリーコース (PLAYエリア)
- ▶ 自動運転バス試乗体験
夢の大橋 ほか



ART

- ▶ 廃材アート展示
原寸大の動物、バスケットコート等
- ▶ アップサイクルレシピ本
廃材アートを巡って「アップサイクルレシピ」を集めて、自分だけのレシピ本に



PLAY

- ▶ パラスポーツ競技体験 5/12 (日)
ブラインドサッカー、車いすバスケット等
- ▶ ゆるスポーツ体験
くつしたまいれ、点字ブロックリレー等



4. シンボルプロムナード公園 (概要②)

各局等連携コンテンツ

ブース名	開催日	内容
SusHi Tech Tokyoブース	5/12 (日) 5/18 (土) 5/19 (日) 5/25 (土) 5/26 (日)	「SusHi Tech Tokyo」の取組の紹介、メッセージボードの設置、ノベルティグッズの配布
東京グリーンビズ		100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」の取組の紹介、ノベルティグッズの配布
あつまれ それぞれのHTT 電力を(H)へらす(T)つくる(T)ためる		「HTT～電力を(H)へらす(T)つくる(T)ためる～」の取組の紹介、省電・蓄電に関する体験コンテンツ、パネル・アイテム展示、ノベルティグッズの配布
東京都中央卸売市場		豊洲市場をはじめ都内に11ある中央卸売市場の役割等の紹介、ノベルティグッズの配布 5/18・19はマスコットキャラクター「イッチーノ」も登場
		「こどもスマイルムーブメント」の取組の紹介、参画企業・団体によるこども向けワークショップの開催、ノベルティグッズの配布
こどもスマイルムーブメント	5/12 (日)	大学生と一緒にものづくりにチャレンジしよう！（協力：東京電機大学）
	5/18 (土) 5/19 (日)	はぎれで作ろう！くるみバッジ（協力：特定非営利活動法人だーちゃらぼ）
	5/25 (土)	こども向け社会体験アプリ「ごっごランド」"おべんとうやさんごっこ"体験（協力：株式会社キッズスター）
	5/26 (日)	浴衣でお台場散策（協力：特定非営利活動法人きもの笑福）
TEAM BEYOND 【PLAYエリア】 （パラスポーツ応援プロジェクト）	5/12 (日)	パラスポーツを通じてみんなが個性を發揮できる未来を目指す、都のパラスポーツ応援プロジェクトを紹介。LINE公式アカウントのお友達登録で、公式グッズをプレゼント
東京都立忍岡高等学校	5/25 (土) 5/26 (日)	忍岡高等学校生活科学科の生徒の皆さんが制作した作品を展示（お菓子の廃材を使用したワンピースなど）

5. 海の森エリア（開催実績①）

海の森の陸・海・空の広大なエリアを活用し、先行プロジェクトが実装を進めるテクノロジーをリアルに体感いただくことをコンセプトに実施。アンバサダー（ロボコ）を活用し、テクノロジーをわかりやすく解説。先行プロジェクトツアーはほぼすべての回で満杯となった。日本科学未来館のおばけレストランで紹介した食材を使ったテックバーガーショップ、サステナブルBBQはいずれも完売した。約1万人が来場。



アンバサダー（ロボコ）が大人気



ロボコがテクノロジーを解説したパネルを活用

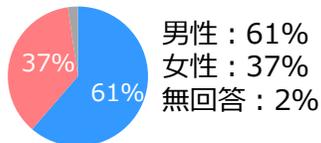


先行プロジェクトツアーは毎回ほぼ満員

来場者属性

（来場者アンケートより抜粋）

性別



来場目的



年齢



先行プロジェクトアンケート結果（13社）

■ 主な意見 ※抜粋

- ・東京都との接点に可能性を感じた。
- ・ツアーや個人（法人）の見学者が多く来場した。商談につながる案件も数点あり、有意義なイベントであった。
- ・各ブースが集積しているほうがにぎわっているように見える。
- ・関係会社に製品について説明するよい機会となった。
- ・東京都の運営も素晴らしく、たくさんの人をブースへ案内していただいた。ほか大変多くの方に取組を知っていただける機会でもとても有難い会だと感じた。
- ・ツアーのおかげで集客できた。長期間の対応・フォローに感謝。
- ・当社の関係者やクライアントが複数訪問。実機の展示機会があるのは、コミュニケーションのきっかけになるので、ありがたい。
- ・ツアーや団体案内はとてもありがたいが、名刺交換まであまり至らない印象。事前に紹介パンフレット＋名刺のセットを団体用にまとめておいて、配布するとよい。

■ ビジネスマッチング延べ件数：計745件

来場者の感想（そう思う＋ややそう思う）

体験した最先端の技術に興味を持てた **84.8%**

展示されていた最先端技術がもっと身近に普及してほしいと思った **84.5%**

広大なベイエリアの可能性や魅力に気づくことができた **78.7%**

5. 海の森エリア（開催実績②）

水素エネルギーの実装化に向けた多彩な技術の体験コンテンツ



水素石窯を使ったピザ焼き体験
（屋内実施では日本初の試み）



水素コンロを使い調理した
フードの提供



水素で動くストリート
電子ピアノの試奏



風と水素で走る水素生産船
「ウインズ丸」の実物展示



東京海洋大学の水素船
「らいちょうN」の展示・乗船

空飛ぶクルマ都内初飛行

東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場特別会場では「空飛ぶクルマ都内初飛行」を4日間で7回実施し、3,100人が来場。初日には84人（46社）のメディアが来場。大きな反響を呼んだ。



5月17日の初回フライトでは
関係者が出席するセレモニーを実施



多くの都民が飛行を体感



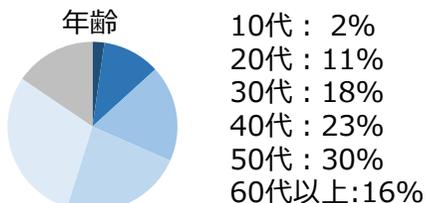
5月23日、CBC（TBS系列）が
約10分間の生中継を実施



5月17日の初飛行は、有明アリーナ会場
ステージでライブ中継を実施

来場者属性

（来場者アンケートより抜粋）



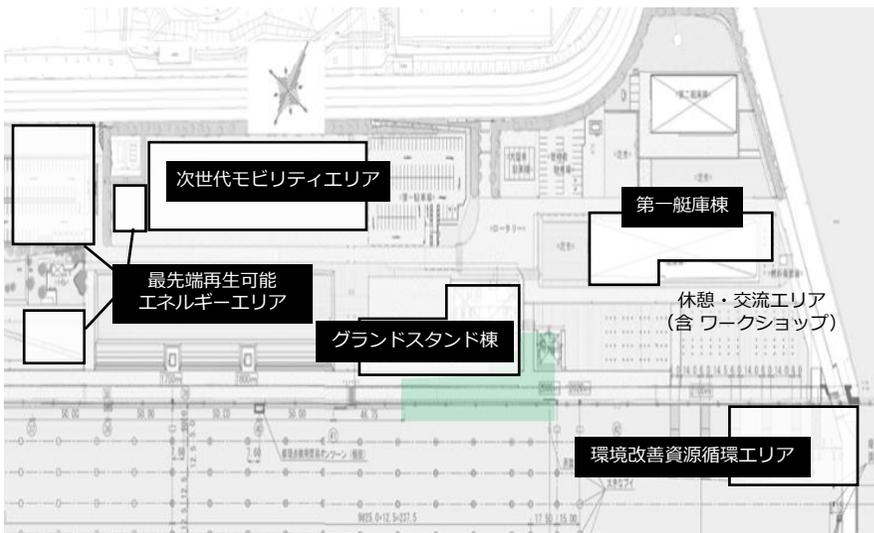
【空飛ぶクルマ都内初飛行】来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

空飛ぶクルマ「HEXA」
に乗ってみたい **94.6%**

空飛ぶクルマが飛行する
東京の未来が楽しみだ **94.6%**

5. 海の森エリア (概要①)

会場レイアウト



空飛ぶクルマ都内初飛行

飛行日時 ※各回とも飛行は15分程度 計7回実施
 5月17日 (金) ①16時45分
 5月18日 (土) ②11時 ③14時
 5月22日 (水) ④13時 ⑤16時
 5月23日 (木) ⑥11時 ⑦14時



飛行場所
 東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場 特別会場



公式アンバサダー アニメ「僕とロボコ」



©宮崎周平/集英社・僕とロボコ製作委員会

主なコンテンツ

最先端再生可能エネルギーエリア

- ・先行プロジェクト
- ・オフグリッドベース
- ・GENKI LABO サイエンスライブ
- ・DJ体験会



次世代モビリティエリア

- ・先行プロジェクト
- ・ロボコのドローン☆ファクトリー
ドローンフードデリバリー
- ・ライドパーク
- ・テックスケボーゾーン



環境改善資源循環エリア

- ・先行プロジェクト
- ・ドラゴンボート体験



フード

- ・ロボコのテック☆バーガーショップ
- ・ロボコのサステナ☆バーベキュー
- ・ロボコのフード☆ラボ
～味が変わる！？エレキソルト体験～
- ・水素石窯で焼くピザの試食



その他

- ・水素船「らいちょうN」
- ・ヘルステック体験～リビングラボ～
- ・先行プロジェクトツアー
- ・交流商談スペース
- ・パラスポーツ体験



各局等連携コンテンツ

ブース名	開催日	内容
SusHi Tech Tokyoブース	5/12 (日) ~5/21 (火)	「SusHi Tech Tokyo」の取組の紹介、メッセージボードの設置、ノベルティグッズの配布
次世代型ソーラーセル	5/12 (日) ~5/21 (火)	柔軟性があり軽量の次世代型ソーラーセルパネルの展示
VR防災体験	5/19 (日)	災害発生時の街の様子や都の防災対策をVRで体験

5. 海の森エリア (概要②)

先行プロジェクト

- ・ 持続可能な都市の実現に向け、最先端技術の社会実装を進めることで、直面する社会課題を解決することを目的に展開
- ・ 「次世代モビリティ」「最先端再生可能エネルギー」「環境改善・資源循環」の3つのテーマで15件を採択

次世代モビリティ

- 空飛ぶクルマ
- ①NTTコミュニケーションズ ②丸紅エアロスペース



- 水空合体ドローン、充電ポート付ドローン
- ③KDDIスマートドローン



- 陸・海・空のMaaS実現に向けたシステム
- ④野村不動産



水上ポート実装イメージ

最先端再生可能エネルギー

- 垂直軸型風力発電、舗装式太陽光発電
- ⑤チャレナジー ⑥三鷹光器 ⑦東亜道路工業



- 海水、風からグリーン水素の生成に関する技術
- ⑧アンヴァール ⑨商船三井



海水からの水素生成



水素生成船

- 国内初となる洋上での浮体式太陽光発電

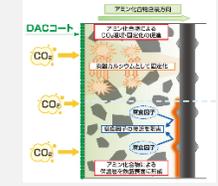


環境改善・資源循環

- 実験水槽にて東京湾の自然環境を再現
- ⑫イノカ



- 世界初のDAC (Direct Air Capture) コートによるCO₂吸着
- ⑬清水建設



- 海ごみ自動清掃ロボット



- 微細藻類の海上培養



6. 有明アリーナ（開催実績①）

サステナブルな社会がテクノロジーにより実現した「2050年の東京の暮らし」を体験してもらい、未来の東京への共感の輪を広げ、未来への推進力とすることをコンセプトに実施。体験展示、ステージプログラム、ファミリー向けワークショップなどの多様なコンテンツを65を超える企業・団体の協力のもとで展開。計5日間の期間中10代未満・10代・20代（計34%）など若年層を含む幅広い年代の延べ3万人以上が来場。

メインアリーナ（ステージ）

2050年の東京を考えるきっかけ作りとなるトークセッションやスピーチ、未来への推進力を生み出すステージパフォーマンスなどを展開。



スピーチ、パネルディスカッション、ドラマ上映、音楽LIVEなど様々な手法で未来を想起させた

スポーツやダンスコンテンツなど来場者が積極参加するステージも展開

メインアリーナ（体験エリア）

「2050年の東京の暮らし」の体験コンテンツを6つのテーマに沿って展開。ほとんどが参加型であり、体験することで未来を身近に感じていただけた。



未来のリビング



アシストスーツ



未来の家電



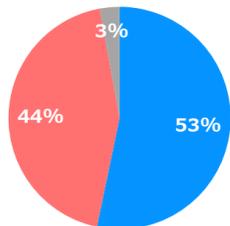
宇宙エレベーター



VRスポーツ

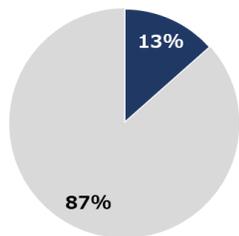
来場者属性

性別



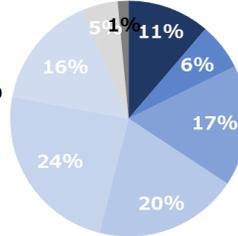
男性：53%
女性：44%
無回答：3%

来場目的



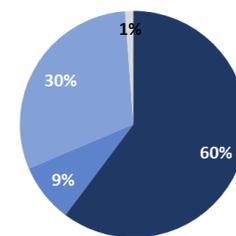
ビジネス：13%
一般：87%

年代



10代未満：11%
10代：6%
20代：17%
30代：20%
40代：24%
50代：16%
60代：5%
70代以上：1%

居住地

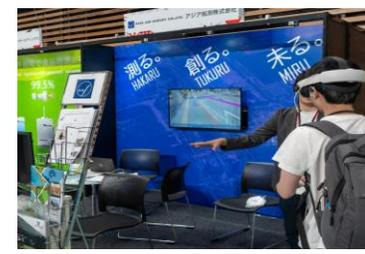


東京都（23区内）：60%
東京都（23区外）：9%
東京都以外：30%
日本国外：1%

6. 有明アリーナ（開催実績②）

サブアリーナ・屋外エリア・エントランス通路などを積極的に活用し、未来を創る先端技術やサステナブルな取組に触れる機会を創出。来場者アンケートでは未来への期待について高い数値。

サブアリーナ（自動運転関連出展・企業ブース出展）



自動運転がある未来について考える展示や塗り絵を使ったワークショップ、巨大レゴ®の展示などファミリー向けコンテンツを多数展開

未来の東京づくりを推進する技術パートナーや東京ベイeSGパートナーの技術披露と交流の場を創出

有明親水海浜公園「潮風フードスクエア」



サステナブルフードのキッチンカー出店や、海の未来をシェフと一緒に考えるトーク&ランチイベントを実施

2階 通路（イマーシブ映像・東京都ブース出展）



未来への没入感を高めるため、未来の新聞をイメージした巨大なイマーシブ映像を入口導線上に展開。東京都によるSusHi Tech Tokyo の取組紹介ブースの出展

来場者の感想（そう思う+ややそう思う）

未来の暮らしに興味を持てた

85.2%

多様な人々の生活を支える
未来の便利な技術に期待が持てた

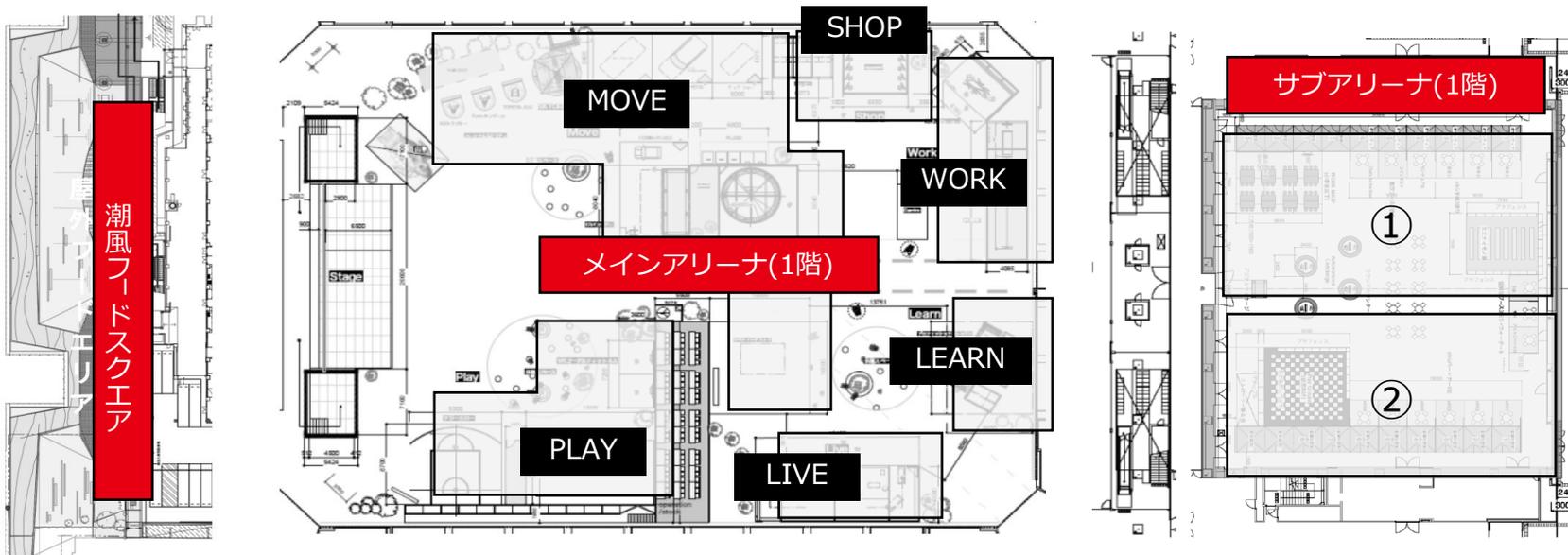
83.7%

自分たちの手でより良い未来を
つくっていきたくと思った

82.9%

6. 有明アリーナ (概要①)

会場レイアウト



エリアコンテンツ概要

メインアリーナ

MOVE

- ・宇宙エレベーター体験
- ・未来モビリティ大集合!
- ・巨大ロボット登場!



WORK

- ・歩行解析診断ロボット
- ・アシストスーツシリーズ
- ・自動追従ロボット台車



SHOP

- ・未来コンビニ
- ・未来アパレル



LIVE

- ・未来リビング
- ・サステナブルハウス
- ・パーソナライズルーム



LEARN

- ・リモートダンスレッスン



PLAY

- ・フリースローロボット
- ・VRフィットネス
- ・ARスポーツ「HADO」
- ・「樹木の里親」募集



サブアリーナ

- ①協賛・eSGパートナー企業のブース出展やChefs for the Blue による「シェフが見据える海の未来展」を展示
- ②小さい子どもも楽しめる自動運転特設ブース、レゴ®ブロックの作品展示を提供

潮風フードスクエア

Chefs for the Blueが特別なミールボックス&トークショーを実施
ほかにも開放的な海辺で味わう、地球にやさしくおいしい食事を提供

6. 有明アリーナ (概要②)

スケジュール

5月17日(金) 13:00 一般開場	5月18日(土) 10:30 開場	5月19日(日) 10:30 開場	5月20日(月) 11:00 開場	5月21日(火) 12:00 開場
  <p>14:00～14:30 オープニングセレモニー</p> <p>15:00～15:40 オープニングスピーチ ～宇宙から見えるミライ～ (野口聡一(宇宙飛行士))</p> <p>16:45～17:15 パブリックビューイング「空飛ぶクルマ都内初飛行」</p> <p>17:30～18:10 オープニングスピーチ ～データから読み解くミライ～ (アンナ・ロスリング(「ファクトフルネス」共著者))</p>	<p>12:00～12:20 「COACH」舞台挨拶(木戸大型)</p> <p>12:20～12:45 上映会「COACH」 「大切な友達」</p> <p>13:30～14:40 超人スポーツチャレンジ 2050</p> <p>15:00～16:30 スペシャルトークセッション 「自動運転ってなあに? ～みんなで考えよう自動運転がある未来～」</p> <p>17:00～17:20 MPLUSPLUS LED DANCE SHOW</p> <p>17:20～17:40 MPLUSPLUS グリーディング</p> <p>18:10～18:50 トークセッション～WAO!DANCE</p>	<p>12:00～12:20 「大切な友達」舞台挨拶(木村文乃)</p> <p>12:20～12:45 上映会「COACH」 「大切な友達」</p> <p>14:00～15:00 パネルディスカッション～FOOD～ (モデレーター：生江史伸(レフェルヴェンソス))</p> <p>16:00～16:25 上映会「COACH」 「大切な友達」</p> <p>17:30～18:30 パネルディスカッション～MOBILITY～ (モデレーター：杉原行里(RDS))</p>	<p>12:30～13:30 パネルディスカッション～LIVE～ (モデレーター：田中元子(グランドレベル))</p> <p>14:00～14:30 企業プレゼンテーション～東京ガス～</p> <p>15:00～16:00 パネルディスカッション～DESIGN～ (モデレーター：太刀川英輔(Nosigner))</p> <p>16:15～16:45 企業プレゼンテーション～Proximar Seafood with 丸紅～</p> <p>17:00～18:00 パネルディスカッション～LEARN～ (モデレーター：星友啓(スタンフォード・オンライン)/伊藤羊一(武蔵野大学))</p> <p>18:30～19:00 企業プレゼンテーション～playknot & STYLY～</p>	<p>12:30～13:30 パネルディスカッション～WORK～ (モデレーター：安居昭博(Circular Initiatives&Partners))</p> <p>14:00～15:00 パネルディスカッション～DE&I～ (モデレーター：辻愛沙子(arca))</p> <p>15:00～15:15 クロージングセレモニー</p>  <p>19:00～19:40 yama SPECIAL LIVE</p>
20:00 閉場	20:00 閉場	20:00 閉場	20:00 閉場	20:00 閉場

各局等連携コンテンツ

ブース名	開催日	内容
SusHi Tech Tokyoブース	5/17 (金) ～5/21 (火)	「SusHi Tech Tokyo」の取組の紹介、舟運の活性化に向けた取組の紹介、世界陸上・デフリンピックのPR

7. 輸送

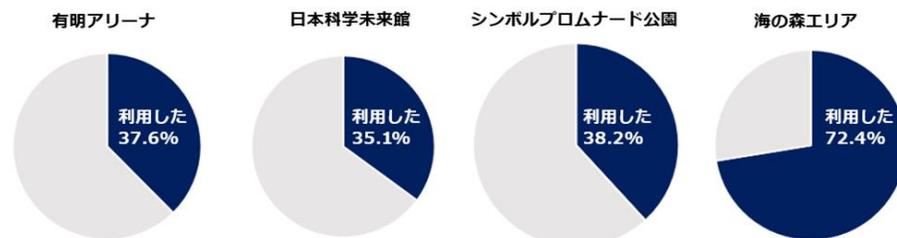
周遊バス

バス試走やバス運行事業者への説明会、乗降場所へのスタッフ配置を適切に行い事故なく運行、延べ17,000人利用。燃料電池バスを41台使用し、サステナブルなイベント運営に寄与。一部の乗降場所では案内が分かりにくいという来場者からの声が複数あがった。誘導サインやWeb記載内容を見直しを図ったが、次回への課題となった。



周遊バス	
利用者数	17,000人
運行便数	687便
バス台数	154台
内燃料電池バス運行便数	187便
内燃料電池バス運行台数	41台

来場エリア別周遊バス利用状況（来場者アンケートより抜粋）



時間帯や天候による利用者数の変動はあったが、長い待ち時間や異常な混雑などはなく、快適に移動いただける周遊環境を整えることができた。幅広い属性の来場者を想定したイベント特性の中で、輸送利用率約50%は利用者の快適性と利便性にも配慮した適正な輸送能力であったと考える。

水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」

事前予約率は定員の95.5%と人気。4日間で966人（事前予約者の75%）が乗船し、海の森エリアへの来場促進に貢献。船内では水素エンジンの説明を実施し、意識変容、高い満足度につながった。その他、乗り心地の快適さ、エンジン音の静かさなどに対して評価を得た。



乗船者の感想（そう思う+ややそう思う）

最先端の技術に興味を持てた

97.3%

二酸化炭素排出量削減を
考えるきっかけになった

89.9%

8. 広報①

プレミアム発表会、各ベニュー内覧会、空飛ぶクルマ初飛行、オープニング／クロージングセレモニーにメディアを招致した他、個別取材対応も積極的に行い、約800件の露出を獲得。

	露出件数
プレミアム発表会	219
未来館内覧会	39
オープニングセレモニー	113
シンボル海森ツアー	40
有明アリーナ内覧会	31
空飛ぶクルマ初飛行	139
クロージングセレモニー	1
その他（イベント全般）	211
	総露出件数
合計	793

＜露出を獲得した主なメディア＞

※海外メディア露出割合は約2.8%（露出件数ベース）

【テレビ／ラジオ】NHK、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京、J-WAVE、など
 【新聞／雑誌】読売新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、など
 【ウェブ】ASCII.jp、ITmedia NEWS、ABEMA TIMES、TECH+、HugKum、など



4/10付 読売新聞



5/17 NHK おはよう日本



5/17 FNN Live News α

8. 広報②

イベント情報発信のため「SusHi Tech Tokyo 2024」「ショーケースプログラム」「マイページ・チケット」「広告用ランディングページ」のウェブサイト順次開設。会期末までに約204万ページビュー閲覧され、来場促進に寄与した。マップやタイムテーブル等の機能を搭載した公式アプリのインストール数は約1.5万回に達し、来場者の体験価値を高めた。XとInstagramのSNSアカウントでは、各ベニューの見所やコンテンツの開催情報など、即時性のある情報発信に活用。大規模なシティドレッシングによる機運醸成に加え、ロボコやNFTを活用したスタンプラリー企画も実施し、会場間の周遊に繋がった。

ウェブサイト



合計ページビュー
204万PV

公式アプリ



インストール数
1.5万回

ウェブ広告



有明アリーナ広告

日本科学未来館広告

インプレッション数
3億6045万imp



シティドレッシング

ベイエリアや都内主要駅を中心に、大規模なシティドレッシングを実施。SusHi Tech Tokyoの認知向上とイベントの盛り上げを図った。



ロボコスタンプラリー

4ベニューと周辺施設等の計15箇所にスポットを設置。計371人にロボコオリジナルグッズを配布した。



NFTスタンプラリー

4ベニューと東京ビッグサイトに二次元コードを設置。公募で選定した5種類のNFTアートを計773枚配布した。

9. ボランティア

期間中には1都1府9県から520人（延べ1805人）のボランティアが参加。「東京ボランティアレガシーネットワーク」 (<https://www.tokyo-vln.jp/>) に13件の投稿が寄せられた。車いすユーザー、難聴者など、配慮を要する方も多数参加し、スタッフと一丸になってイベントを支えていただいた。また、都立高校から178人（延べ195人）の生徒がボランティアとして参加し、ボランティア文化のすそ野を広めることができた。

①各ベニューで精力的に活動



コンテンツの体験補助



受付／アンケート収集

②コンテンツを実際に体験



休憩時間などにコンテンツを体験いただき、感想を運営に役立てた

③高校生ボランティア



都立高校生がボランティア活動に参加。イベント運営を体験

ボランティアの満足度 (とても満足している+満足している)

ボランティア活動

78.7%

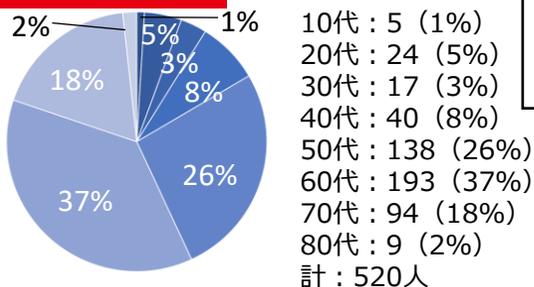
会場運営スタッフの対応

71.4%

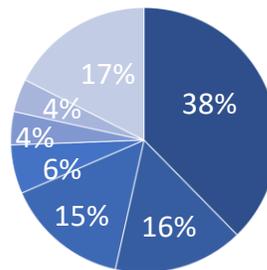
参加者の声

- ・2050年を見据えたイベントに参加者と一緒に感動や楽しさを共感しあえ、有意義な時間だった。
- ・ドローンで物資を運ぶというコーナーのお手伝いをし、実用化が楽しみになった。
- ・複数の会場に参加させていただき、たくさんのボランティアの方と一緒に楽しく活動できた。また、海外からの客様に英語で対応する機会もあり、少し自信が付いた。

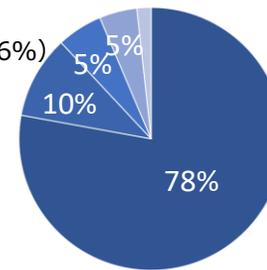
参加者属性



最高年齢…**87歳**
最低年齢…**18歳**



会社員：196 (38%)
パート・アルバイト：82 (16%)
主婦・主夫：78 (15%)
自営業：31 (6%)
学生：21 (4%)
公務員：21 (4%)
その他：91 (17%)
計：520人



東京都：405 (78%)
神奈川県：53 (10%)
埼玉県：29 (5%)
千葉県：24 (5%)
その他：9 (2%)
計：520人

10. ガイドライン対応

事前に設定された5つの柱からなるガイドラインについて、会場別に来場者のニーズや需要予測などを勘案しながら、具体的な方策を下記のとおり実施。持続可能なイベント開催のあり方を提示。

① サステナブルなイベント運営

次世代エネルギー活用（再掲）

- ・水素エンジン搭載船「ハイドロびんご」の運行や水素船「らいちょうN」を展示公開
- ・無料周遊バスとして水素バスが活躍
- ・海の森エリアにて、水素を使った石窯で焼いたピザを提供。屋内では初の取組

再生可能エネルギー活用



海の森会場では、発電した電気を活用したDJ体験会を実施

太陽光発電を一部に利用した蓄電型発電機を会場内の電源として活用

3Rの推進（再掲）

- ・シンボルプロムナード公園MARKETエリアで、規格外野菜・廃棄食材を使ったアップサイクルビール等を販売
- ・着なくなったTシャツにオリジナルデザインをプリントできるリペア体験を実施

② ダイバーシティ & インクルージョンへの配慮



ジェンダーバランスなど多様性・包摂性に配慮したパネリストを選定、起用



手話通訳の導入およびポケットクを活用した同時翻訳サービスの実施



5月12日に3会場合同で「Inclusive Action Day」を開催。パラ競技体験などを実施

登壇者の男女比率割
男性 51.0%
女性 47.0%
その他 2.0%

③ 来場者利便性の向上（再掲）

会期中、無料周遊バスや水素エンジン搭載船による会場間輸送を展開。アプリでの周知やスタンプラリーによる周遊施策を実施

無料周遊バス利用者 **延べ1.7万人**
 水素エンジン搭載船利用者 **延べ966人**

④ DXへの対応（再掲）

NFTデジタルスタンプラリーの実施や公式アプリなど各種デジタル技術を活用

NFTスタンプラリー配布枚数 **773枚**
 公式アプリDL数 **1.5万DL**

⑤ ボランティアスタッフとの協働(再掲)

延べ1800人を超えるボランティアの方々とともに、事故なく本プログラムを運営

今回の参加にたいへん満足+満足 **78.7%**

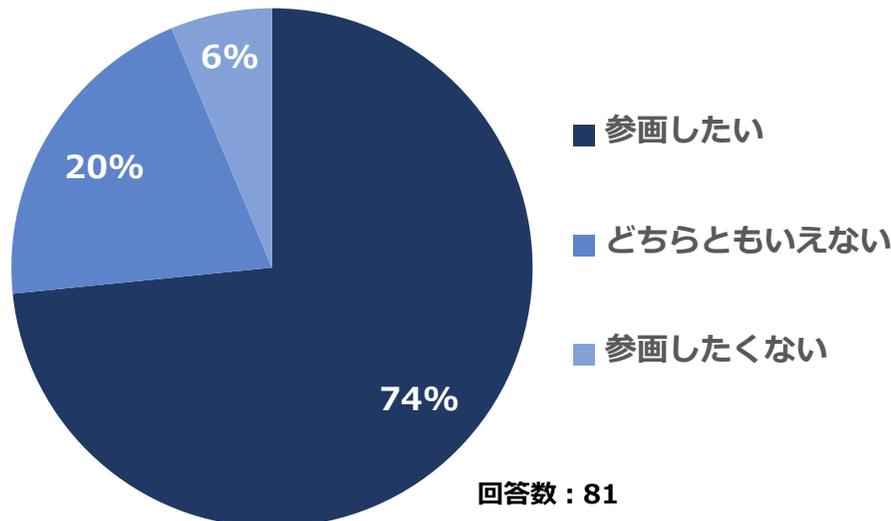
11. 事業者アンケート

■ 技術パートナー

各会場、コンテンツにおいて最先端技術やノウハウ、サービスの提供、機器・機材の貸与、展示物の共同制作、PR協力など130を超える企業・団体から協力を得ることができた。

技術パートナーは公式ウェブサイトのほか、新聞広告やバス内広告などにも企業ロゴを掲出した。

パートナー企業アンケート 将来の参画意向
 「あなたは今後同じような東京都のイベントが開催された場合、どの程度参画したいと思いますか」



新聞広告



バス内広告

主なコメント

- ・大変素晴らしいイベント。今後とも何かお手伝いできればと思う。
- ・催し自体よりSusHi Techそのものが何であるかが伝わっていないようで勿体無い。
- ・全てのエリアを1日で見て回るのは大変だと感じた。
- ・結果的に参加したことで有意義な出展展示、招待したお客様とも繋がり良かった。

技術パートナー : 138社
フードパートナー : 61社
先行プロジェクト : 15社

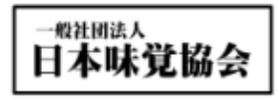
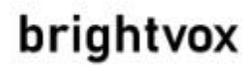
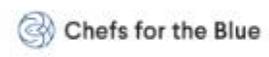
12. 技術パートナー一覧①

※順不同、ロゴ提供を受けた技術パートナーのみ掲載



12. 技術パートナー一覧②

※順不同、ロゴ提供を受けた技術パートナーのみ掲載



12. 技術パートナー一覧③

※順不同、ロゴ提供を受けた技術パートナーのみ掲載

